

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2025

冬号

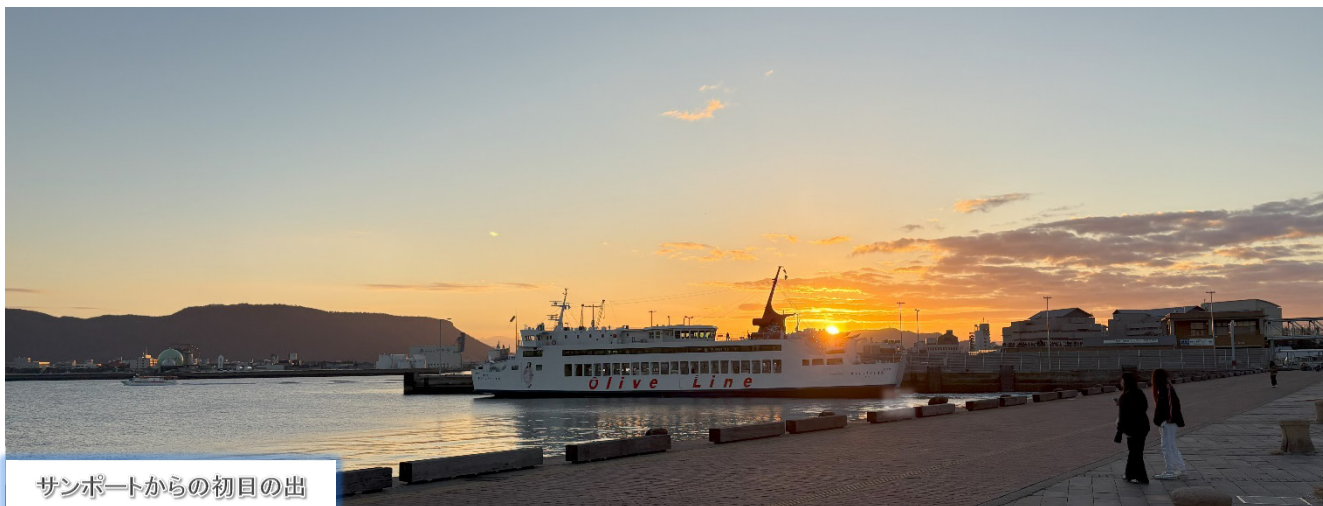
<No.210>

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
- 港湾工事
- 出前講座開催
- 備讃瀬戸航路浚渫工事



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所



サンポートからの初日の出

「新年のごあいさつ」

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

昨年は、元旦に能登半島地震が発生し、四国にも影響のあった四月十七日の豊後水道地震、八月八日の日向灘地震が発生し、初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。

地震、台風等の自然災害は、いつ、どこで起こってもおかしくないと言われていても、自分が直面しなければ、自分のこととして捉えられず、その対応に差があると実感しています。

三十年前の一月十七日に阪神・淡路大震災が発生しました。

当時、私は神戸の調査設計事務所に勤務し、神戸港の市街地とポートアイランドとを結ぶ沈埋トンネルの立坑の仮設土留壁を直営で設計していました。その一年程前(一九九三年七月十二日)に北海道南西沖地震があり、奥尻島を始め甚大な被害がありました。しかし、まさか、神戸で起きるとは私を含めて誰も思わず、施工期間は短いので地震は来ないだろうとの考えから、施工時の安全率を1.0、施工時には地震が起きないことを前提に設計しました。しかし、地震は起きてしまいました。

地震直後、真っ暗の中、家族の無事を確認し、逃げるための官舎のドアが開くかを確認した後、自分で設計した海底トンネルの土留矢板壁は壊れていないかが頭をよぎりました。

その後の調査で土留矢板壁は、大きく波を打っていました。幸いにも鋼製のケーソンを据え付けるクリアランスは確保されました。そのまま、施工することになりました。

もう一つの苦い経験は、東日本大震災です。

二〇〇四年度から二〇〇六年度に本省で港湾の予算を担当していました。当時、三陸沖では巨大地震が三十年以内に七十〜八十%の確率で起きるといわれながらも、予

算は国際物流の拠点となる港に重点投資しており、東北地方の重要港湾や地方港湾の防波堤整備には十分に予算を箇所付け出来ませんでした。その五年後の二〇一一年三月十一日に東日本大震災は、発生してしまいました。二〇一六年四月からは青森県の八戸港の事務所で所長として復興に当たることになりました。

今、四国では南海トラフ地震が三〇年以内に七〇〜八〇%の確率で発生すると予測されています。正に東日本大震災と同じ状況です。

三度目の苦い思いをしないよう必要な対策を進めていきたいと思います。

今、高松港湾・空港整備事務所では、高松朝日地区でフェリーの大型化と大規模地震対応の複合一貫輸送ターミナルを令和十年度の完成を目指して整備しています。事業を着実に進めるため、令和六年度補正でも整備を推進します。また、大型船の安全航行と輸送の効率化のために行っている備讃瀬戸航路保全事業の浚渫についても令和七年度に確実に完了させるため、令和六年度補正を充当します。

令和六年十二月二十七日には、令和七年度の政府予算案が閣議決定されました。港湾関係予算は、対前年度比1.0の二千六百四十九億円です。通常国会での予算審議後、箇所付けが決定されます。令和七年度予算で高松港、備讃瀬戸航路、高松空港の事業を着実に進めて参りたいと思います。

今年は、巳年、実る年とも言われています。目標が達成される年、また、次の発展のための準備の年になるよう事務所職員一丸となって頑張りますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

高松港湾・空港整備事務所長

加藤 訓生

港湾工事

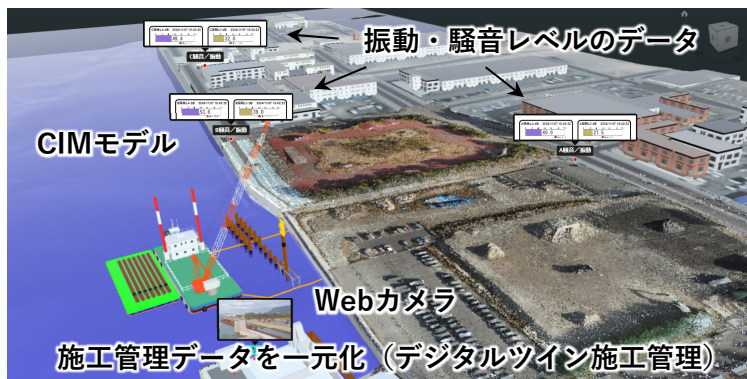
『高松港朝日地区複合一貫輸送ターミナル整備事業』

令和6年度は、岸壁の基礎となる鋼管杭69本の施工を行っています。年度内には、鋼管杭全数の7割以上の施工が完了する見込みです。施工に当たっては、働き方改革・生産性向上・担い手確保を図るための取り組みを進めています。

全ての工事で4週8休以上の休日確保を遵守し、現場の生産性向上を図るため、デジタル技術を活用した港湾整備に取り組んでいます。例えば、鋼管杭の施工には、バイブrohアンマーや油圧ハンマーを使用するため、施工中の振動・騒音レベルの把握が重要になります。そこで、現場周辺に振動・騒音計を設置し、Webカメラと振動・騒音データをCIMモデルの画面と連携（一元化）させ、リアルタイムに施工状況を把握するなど、施工管理の効率化に取り組んでいます。

令和6年12月には、港湾建設業界団体の皆さんと協働し、香川県内の土木・建設系の学生（大学、高専、高校）を対象とした現場見学ツアーを行いました。また、四国地方整備局オフィシャル広報パートナーの方に現場を見に来ていただきました。SNS等を通じて港湾建設現場の魅力等をわかりやすく情報発信してもらい、四国の建設産業の担い手確保に繋がることを期待しています。

工事に当たっては、近隣の関係者にご協力頂きながら安全に作業を進めて参ります。



四国地方整備局オフィシャル広報パートナー制度



出前講座開催

令和6年11月、当事務所が所有している海面清掃兼油回収船「美讃」について、倉敷環境衛生協議会34名、琴平小学校5年生20名を対象に出前講座を開催しました。

参加された皆さんが、海上に浮遊する巨大な流木や家電製品などの予想外な海ゴミに驚かれ、それらの海ゴミを回収し瀬戸内海の海洋環境を守る「美讃」の活動について熱心に質問されている様子が印象に残っています。

このような出前講座での「美讃」の活動をとおして、海洋環境を守ることの大切さを再認識していただく活動を行って参ります。

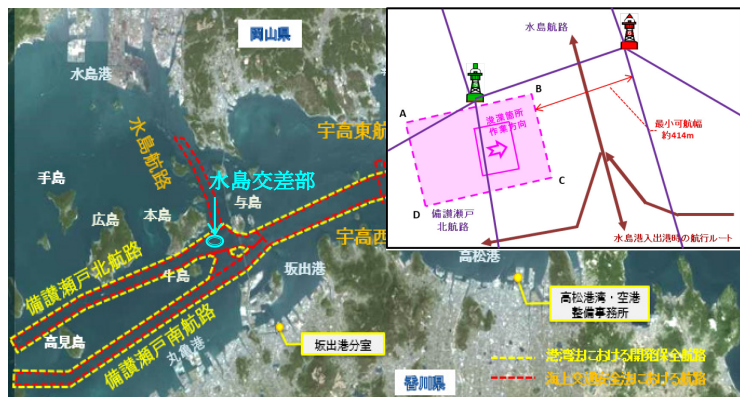


備讃瀬戸航路浚渫工事

国際及び国内の海上輸送を担う重要な航路である備讃瀬戸航路において、必要水深を確保し航路の安全を守るため、令和3年度から7年度まで水島航路交差部で保全浚渫を実施しています。

令和6年度は航路の西側で約15,300m³の浚渫を実施し、浚渫で得られた良質な砂については、与島・手島・高見島の沖合に覆砂を行いました。

なお、工事に当たっては航路利用者や漁業関係者、海上保安部、備讃瀬戸海上交通センター等関係機関と調整を密に行うことで、無事故で工事を終えることができました。来年度は最終年度となりますが、引き続き安全に留意しながら作業を進めて参ります。



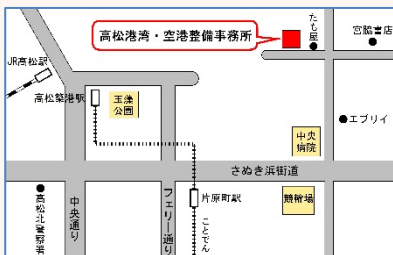
●高松港湾・空港整備事務所

〒760-0064

高松市朝日新町1-30

高松港湾合同庁舎3階(南側)

TEL087-851-5522



●坂出港分室

〒762-0002

坂出市入船町1-5-26

TEL0877-46-0311



国土交通省・四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください♪
皆さんからのお便りもお待ちしております。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル



おーいによくなれみなと
0120-497-370

受付時間*：9:30～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

*一部の地域を除きます。